

TGM

# 縦型研磨の導入実績増

## 水処理、自動化まで一気通貫

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・ネプチューン社の縦型半磨き・傾斜加工機「ROCK(ロック)」シリーズの受注が続いており、国内での納入実績が増えている。加工機としての性能だけでなく、オプション機能として設置できる、平行四辺形の異形ガラス搬送・加工システム、出口コンベヤー上に設置できるボックス型簡易洗浄機が好評という。併せて水処理装置を検討・購入するケースもあり、スペイン・フィルトラガラス社の水処理装置とともにワンストップで提案できるのが強み。生産性向上の観点からガラスハンドリングシステム「BravoLoad」も引き合いがあり、自動化・省人化の需要に対応する。

ネプチューン社は、縦型研磨機で世界的に有名なイタリア・バベロニ社を創業したバベロニ家が2008年に創業。バベロニ社の伝統的な設計思想を基に、設備性能や耐久性を追求したモデルを発表している。

縦型研磨機「ロック」シリーズは、糸面コバ磨き機8軸仕様「ROCK8」、同11軸仕様「ROCK11」、斜面すり研磨機10軸仕様「ROCK10-45」、同14軸仕様「ROCK14-45」の4種がある。いずれも研磨ホイ

ール用のスピンドルがモーターとは独立した構造で、モーターの回転による固有振動の影響を受けず、高い研磨品質を得ることができ、騒音も抑えられる。ケブラー樹脂が組み込まれたコンベヤーは、自

動注油機能付きのスチールガイド上を駆動し、長期稼働しても安定した駆動が可能。メインフレームは堅牢(けんろう)で経年変化しにくい铸造構造。250万円の加工に耐える設計となっている。同シリーズは高性能

ながらシンプルでメンテナンス性を追求しており、国内でも好評を得ている。

載せ、下ろし、回転移動を自動化

ハンドリングシステム「BravoLoad」は板ガラスの載せ、下ろし、回転移動をする自動ロボットシステムで、市場で最も自動化された柔軟なシステムの一つという。さまざまな加工設備と組み合わせる生産サイクルを自動化しており、生産性、コスト面、安全性でメリットが高い。

特別なプログラミングは不要で、作業者は容易に使用することができ、ガラスのサイズ、厚さは自動的に認識され、必要な吸盤だけを動作させてガラスをハンドリングする。

1分間で最大13枚のサイクルタイムで、板ガラスの載せ、下ろしを管理し、加工設備の最大作業速度に基づいてハンドリング速度を最適化する。例えば、2台の縦型研磨機とハンドリングシステム、縦型洗浄機で構成する自動化加工ラインは、作業者の手を介さずにガラスの4辺加工、洗浄、取り出しが可能。



糸面コバ磨き機11軸仕様「ROCK11」(上)とハンドリングシステム「BravoLoad」